

I 令和3年度事業計画書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

当財団は、県民が主体となった地域社会の形成を促進するため、NPO活動や市民活動、生涯学習をはじめとする県民の諸活動の支援、高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進及び就業機会の提供に関する事業を行い、あらゆる世代が共に支え合う豊かな埼玉の発展に寄与するという社会的使命を有している。

県民活動の支援に関する事業では、NPO活動や市民活動を支援する各種講座を実施するほか、仕事や生涯学習の成果として培った知識や技能を地域に還元できるようボランティア講師の養成に取り組み、県民活動の活性化を図る。

また、県民活動団体への支援として、彩の国市民活動サポートセンターを運営し、NPO・市民活動に関する相談対応・情報提供の実施や市町の市民活動サポートセンターの支援などを行う。

県民活動総合センターでは、利用者が安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策等を徹底するとともに、県民活動総合センターの利便性や魅力の向上を図り、新たな利用者の獲得に努める。

高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業では、高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営する。埼玉未来大学には、高齢者の元気で自立したシニアライフを支援し、社会デビューのきっかけづくりを行う「ライフデザイン科」と、地域で活躍したいと考えているアクティブシニアを支援する「地域創造科」の2科を設置し、高齢者の多様なニーズに応えるとともに、地域で活躍する人材の育成を図る。

また、高齢者の日頃の文化創作活動の発表の場としてのいきいき創作展や全国健康福祉祭（ねんりんピック）への埼玉県選手団の派遣を行う。

就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業では、高齢者活躍人材確保育成事業を活用して、会員の拡大と多様な就業機会の確保を図る。

また、派遣先企業の開拓、会員と企業のマッチングを進めることで、派遣事業の一層の拡大を図り、労働力不足に対応していく。

さらに、就労支援の拠点であるシルバー人材センターの運営基盤を強化するため、国庫補助金の交付を行うとともに、専門家による相談窓口の設置や職員研修等を実施する。

I - 1 事業の概要

1 県民活動の支援に関する事業

(1) 県民活動支援のための講座開催

ア NPO活動や市民活動を支援するための講座を実施する。

イ 仕事や生涯学習の成果として培った知識や技能を地域に還元できるよう、ボランティア講師を養成するための講座等を実施する。

ウ 県民の多様な学習要求に応えるため、教養を深め生活を豊かにする講座を実施する。

(2) 県民活動団体への支援

彩の国市民活動サポートセンターを運営し、NPO活動や市民活動に関する相談対応・情報提供を行うとともに、「埼玉市民活動サポートセンターネットワーク」事務局として、市町の市民活動サポートセンター職員を対象に研修会を実施する。

また、NPO・市民活動団体との協働事業や子育て支援を行う団体等との連携事業を実施することにより、県民活動団体の活動が一層活発なものになるよう支援する。

(3) 埼玉県県民活動総合センターの運営

利用者が安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策等を徹底するとともに、県民活動総合センターの利便性や魅力の向上を図り、新たな利用者の獲得に努める。

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

(1) 埼玉未来大学の運営

高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営する。

埼玉未来大学には、元気で自立したシニアライフを送るために必要な知識の学習やセカンドステージでの新たな活躍の場を見つけるための支援を目的とする「ライフデザイン科」と地域課題の解決のために必要な地域の担い手を育成することを目的とする「地域創造科」の2科を設置する。

ア ライフデザイン科

体を動かしながら体力・脳力を向上させたり、体力測定装置や健康チェックシートで効果を見える化したりするなど、効果的なカリキュラムを実施

し、シニアの健康長寿の実現を図る。また、地域の課題等を学び体験することで、シニアの社会参加を促進する。

期間は6か月の前期後期2期制とし、令和3年度は、前・後期各5学園（春日部、川越、川口、熊谷、伊奈）を開催する。

イ 地域創造科

NPOの立ち上げなど社会貢献を目指す「アクティブコース」及び社会的起業を目指すビジネス専門の「地域ビジネスコース」を開催する。

また、選択講座として4講座（地域観光ボランティア養成講座、子どもの居場所づくり講座、コミュニティカフェ開設講座、まちづくり・場づくり創業講座）を開催する。

ウ 卒業後の活躍支援

地域デビュー支援として、市民活動サポートセンターによる地域とのマッチングなどを行う。また、起業に向けた活動の場を提供するなど地域で活躍する人材の育成を図る。

(2) 高齢者生きがい支援事業の実施

ア いきいき創作展の開催

絵画や写真、書など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場として、いきいき創作展を開催する。

なお、優秀作品は、翌年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）の美術部門に出品する。

イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となった、高齢者の国体と呼ばれる第33回全国健康福祉祭（ねんりんピック）ぎふ大会に埼玉県選手団を派遣する。

ウ 介護予防のためのシニアレクリエーションセミナーの実施

高齢者の健康の維持増進を図るため、介護予防に役立つレクリエーションを学習するセミナーを実施する。

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

(1) 就業機会の提供

ア 広域的受注調整事業

市町村域を超える広域受注の調整等を行うため、新たに就業コーディネーター（仮称）の設置を進める。

イ 福祉・家事援助サービス推進事業

福祉家事援助サービスに従事するコーディネーターや会員の養成・育成を図る。

ウ 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施

シルバー派遣事業を適正に運営するため、派遣実施事務所との運営会議や実務者研修、派遣会員への研修等を開催し、情報の共有化と法令等の理解を高め、職員の資質向上を図る。また、常時20人以上の派遣会員のいる派遣実施事務所に、法令に基づき産業医を設置する。

エ 有料職業紹介事業

雇用を希望する60歳以上の求職者と求人企業との調整、斡旋を行う。

オ シルバー・ワークステーション事業

介護や保育、小売りなどの人手不足分野を中心に派遣先を開拓し、シニアの働く場の拡大を図る。

カ 高齢者活躍人材確保育成事業

広く高齢者・企業の関心を喚起するため、シルバー人材センターに関する積極的な周知・広報を行う。また、就業体験や技能講習を行うことで、シニアの就業意欲を高めるとともに、企業ニーズに合った人材を養成し、シルバー人材センターの会員拡大、新規就業を促進する。

(2) シルバー人材センター・高齢者事業団の支援

ア 活動拠点の支援等

県内のシルバー人材センター・高齢者事業団に対し、シルバー人材センター事業を展開・拡充するための助言や国庫補助金の交付を行う。

イ シルバー人材センターの役職員に対する研修

シルバー人材センター職員の資質向上のため、新任役職員研修や階層別職員研修等を行うほか、高齢会員等の健康を保持するため、フレイル予防に関する研修を行う。

ウ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談

シルバー人材センター事業を円滑かつ適正に実施するため、専任の相談員や社会保険労務士等による巡回相談、弁護士等による相談体制を整備する。

エ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発

広報紙やオンラインを活用した入会促進、就業機会の拡大を行うほか、派遣形態の多様な働き方をPRすることで、シルバー人材センターのイメージ向上を図る。また、埼玉未来大学と連携し、講義の中でシルバー人材センターの紹介を行い、入会を促進する。

オ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催

事故防止、コンプライアンスについて、安全・適正就業研修等を行うことによる徹底を図る。

カ シルバー人材センター等運営資金貸付事業

運営資金に余裕のないセンターに対し、国や市町の補助金が納入されるまでの間、資金の短期貸し付けを行う。

令和3年度 事業計画書

県民活動や生涯学習の支援、高齢者の社会参加の推進、高齢者の就業促進に資する事業を実施します。

※回数等及び人数等はいずれも目標値

1 県民活動の支援に関する事業

実施事業	回数等	人数等
(1) 県民活動支援のための講座		
ア NPO活動などの県民活動を支援する講座 県民活動を支援するため、NPOの運営に必要な知識を学ぶ講座や、NPO活動・市民活動を体験する講座、地域づくりの手法を学ぶ講座等を実施する。 ▽NPO基礎講座 ▽シニア共助担い手マッチング事業 新 ▽ボランティア・NPOインターンシップ事業	19回	920人
イ ボランティア講師を養成する講座 仕事や生涯学習の成果として培った知識、技能を生かし、生涯学習ボランティアとして地域で活躍できるよう、ボランティア講師を養成し、資質の向上を図るための講座等を実施する。 ▽まなびあい講師塾（入門編） ▽まなびあい講師塾（実践編） ▽まなびあいセミナー ▽スキルアップセミナー ▽交流会 ▽まなびあい講師活動支援事業	29回	1,170人
ウ いいきき生活講座 県民の多様な学習要求に応えるため、ITや文化教養、趣味に関する講座を実施する。 ▽情報化対応力支援講座 ▽文化・教養講座 ▽生活・趣味講座 ▽現代的課題講座 ▽地域探訪講座	32回	1,010人
(2) 県民活動団体への支援		
ア 彩の国市民活動サポートセンターの運営 NPO活動、市民活動を支援するための相談、情報提供等を実施するとともに、県内市町の市民活動サポートセンター関係者を対象に、情報・意見交換、研修会を実施する。 ▽NPO・ボランティア相談コーナーの運営 ▽NPO税務会計等相談会 ▽埼玉市民活動サポートセンターネットワークの運営	通年	—
イ 情報センターの運営 県民活動に関する図書・資料を収集・提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施する。	通年	—
ウ 県民活動団体支援事業 活動団体と協働で事業を実施するなど、活動団体の活性化を支援する。 ▽県民活動団体協働事業 ▽登録団体支援事業	12回	360人
エ 次世代育成支援事業 子育て支援団体と連携し、地域の子育て力が高まるよう講座、相談会等を開催する。 ▽地域子育て支援事業	10回	300人
オ 彩の国いきいきフェスティバルの開催 県民活動団体に対して、日頃の活動成果の発表の場、世代を超えた交流の場を提供するとともに、NPO・ボランティア活動に関する講演会を開催、動画で配信するなど、県民活動の一層の活性化を図る。	1回	2,000人
カ NPO活動促進助成事業 埼玉県NPO基金を活用したNPO法人への助成金交付に係る審査事務等を行う。	通年	—

<p>(3) 埼玉県県民活動総合センターの運営</p> <p>利用者が安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策等を徹底するとともに、県民活動総合センターの利便性や魅力の向上を図り、新たな利用者の獲得に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽保育サービスの運営 ▽広報紙「けんかつ」の発行 ▽ホームページ、SNSの運営、メールマガジンの発行 ▽地元自治体、公的団体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> 彩の国いきいきフェスティバル(再掲) けんかつサマーフェスティバル けんかつ鉄道フェア 大学連携講座 けんかつグリーンスクール(おさらい教室) けんかつひる市 けんかつレンタサイクル 	<p>通年</p> <p>通年 12回 通年 通年</p>	<p>750,000人</p> <p>— 各12,500部 — —</p>
<p>(4) 附帯サービス事業【収益事業】</p> <p>ア 飲食等提供事業 利用者サービスの向上のため、飲食等の提供を行う。 ▽県民活動総合センター内での食堂・売店・自動販売機の運営</p> <p>イ 駐車場の管理運営 利用者サービス向上のため、駐車場の運営を行う。 ▽県民活動総合センターの駐車場の管理運営</p> <p>ウ キャリアアップ支援講座開催 専門的知識やスキルを習得し、キャリアアップに役立つ講座を実施する。 ▽資格取得支援講座</p> <p>エ 埼玉の魅力発信コーナー及びコピーコーナーの運営 埼玉にゆかりのある企画展示や県産品の紹介・販売を行い地域の魅力を発信する。 各種資料づくりに役立つコピー機、印刷機、製本機、紙折機等を設置する。 ▽埼玉の魅力発信コーナー ▽コピーコーナー運営事業</p> <p>オ その他、利用者の便宜を図るためのサービス</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>2回</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>30人</p> <p>—</p> <p>—</p>

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

実施事業	回数等	人数等
<p>(1) 埼玉未来大学の運営 高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、「埼玉未来大学」を運営する。</p> <p>ア ライフデザイン科 健康長寿の実現と社会参加の促進を図ることを目的に、高齢者のニーズに沿ったカリキュラムやシニアの社会参加意識の醸成を図るライフデザイン科を運営する。 ▽前期課程【4～9月】5学園(春日部・川越・川口・熊谷・伊奈) ▽後期課程【10～3月】5学園(春日部・川越・川口・熊谷・伊奈)</p> <p>イ 地域創造科 地域の担い手育成を目的に、社会デビューに直結する高度で専門的なカリキュラムが特徴の地域創造科を運営する。 ▽アクティブコース ▽地域ビジネスコース ▽選択講座(地域観光ボランティア養成講座、子ども居場所づくり講座、コミュニティカフェ開設講座、まちづくり・場づくり創業講座)</p> <p>ウ 卒業後の活躍支援 市民活動サポートセンターによる地域とのマッチングや起業に向けた活動の場の提供を行うなど大学卒業後の活躍を支援する。</p>	<p>10学園</p> <p>2コース 4講座</p> <p>通年</p>	<p>800人</p> <p>225人</p> <p>—</p>
<p>(2) 高齢者生きがい支援事業</p> <p>ア いきいき創作展の開催 絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場を提供する。</p> <p>イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣 高齢者の国体と呼ばれる第33回全国健康福祉祭(ねんりんピック)ぎふ大会に埼玉県選手団を派遣する。</p> <p>ウ 介護予防のためのシニアレクリエーションセミナーの実施 高齢者の体力や認知能力の維持に効果的な運動やレクリエーションを学ぶ機会を提供する。</p>	<p>4日間</p> <p>4日間</p> <p>4回</p>	<p>—</p> <p>136人</p> <p>160人</p>

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

実施事業	回数等	人数等
<p>(1)就業機会の提供</p> <p>ア 広域的受注調整事業 各活動拠点と調整しながら、広域的な仕事を含めた就業の需給調整を行い、会員の就業機会の確保につなげる。 新 ▽就業コーディネーターの設置(仮称)</p> <p>イ 福祉・家事援助サービス推進事業 本事業に従事するコーディネーターや会員の養成や育成を図る。</p> <p>ウ 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施 多様な就業機会を提供することを目的に、各事務所において実施するシルバー派遣事業の適正な運営を推進する。 ▽運営会議 ▽実務者研修 ▽会員研修 ▽派遣システム研修 ▽衛生管理者試験対策研修 新 ▽産業医の設置</p> <p>エ 有料職業紹介事業の実施 雇用を希望する高齢者に対し、各事務所において実施する有料職業紹介事業の適正な運営を推進する。</p> <p>オ シルバー・ワークステーション事業 介護や保育、小売りなどの人手不足分野を中心に派遣先を開拓し、シニアの働く場の拡大を図</p> <p>カ 高齢者活躍人材確保育成事業 シルバー人材センターの理解を深めてもらうことで、新規会員の獲得やシルバーを利用する企業の増加を図る。 ▽広報紙やメディア等による周知・広報 ▽清掃や障子張り替え等の就業体験 ▽保育や介護等の技能講習</p>	<p>通年</p> <p>1回</p> <p>通年</p> <p>5回 2回 8回 2回 1回</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年 60回 16回</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>— — — — —</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>— — —</p>
<p>(2)シルバー人材センター・高齢者事業団の支援</p> <p>ア 活動拠点の支援等 ▽シルバー人材センター事業を展開・拡充するための情報提供や助言を行う。 ▽活動拠点に対し、国庫補助金(連合交付金)を交付する。</p> <p>イ シルバー人材センターの役員に対する研修 法人運営やシルバー人材センター業務に関する知識、企画力の向上を図るため必要な研修を行う。 ▽基本研修、専門研修、交流研修 ▽フレイル予防研修</p> <p>ウ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談 専門家による相談窓口を設置し、業務上の問題に対応する。 ▽巡回相談 ▽弁護士相談、会計相談、社会保険労務士相談、税理士巡回相談、シルバー派遣事業相談 相談員による個別相談窓口の設置</p> <p>エ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発 財団広報媒体やシルバー人材センター連合のホームページ等を活用し、会員募集や仕事募集の広報を行う。 ▽Webを活用した情報発信の強化 ▽広報紙発行 ▽普及啓発月間 新 ▽入会手続きのオンライン化 ▽埼玉未来大学学生への入会促進 ▽広報紙やメディア等による周知・広報(高齢者活躍人材確保育成事業)</p> <p>オ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催 就業中の事故防止のため、職員や会員を対象とした研修や安全指導を実施する。 ▽安全・適正就業推進会議、安全・適正就業研修、安全就業推進大会、安全指導</p> <p>カ シルバー人材センター等運営資金貸付事業 運営資金に余裕がないセンターに対し、資金の短期間の貸し付けを行う。</p>	<p>通年 58団体</p> <p>20回</p> <p>20回 通年</p> <p>通年 12回 10月</p> <p>通年 通年</p> <p>6回</p> <p>23団体</p>	<p>— 790,540千円</p> <p>—</p> <p>— —</p> <p>— —</p> <p>— — — —</p> <p>—</p> <p>150,000千円</p>